

氏名：猪崎 弥生 (IZAKI YAYOI)
所属：人間文化創成科学研究科文化科学系
職名：教授
学位：文学修士 / M.A.
博士 (学術)(2005 神戸大学) / Ph.D.
専門分野：舞踊学・舞踊芸術学
E-mail：izaki.yayoi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

舞踊 / 身体 / 運動 / 表現 / 評価
dance / body / movement / expression / evaluation

◆主要業績

- ・猪崎弥生・水村(久埜)真由美, 日本舞踊における女らしさの表現—印象評価実験に基づいて, 表現文化研究 8(2), 77-83, 2009
- ・名古屋市民芸術祭 2008 参加猪崎弥生舞踊公演「荒地」, 愛知県芸術劇場小ホール, 2008(11.7,8)
- ・猪崎弥生, 身体で「見る」, 女子体育 50(6), 10-13, 2008年6月

◆研究内容 / Research Pursuits

舞踊運動の持つダイナミックで有機的な表現性に着目し、その表現性の評価について研究を続けている。平成 16 年度から 3 年の交付期間での科研費を採択された研究「表現運動(舞踊)の指導力を向上させるために有効な指導言語と評価との関係について」において、舞踊運動の評価とは、現れ出てくる表現性を含めた舞踊運動そのものの特性をつかみとることと捉え、舞踊指導における評価と指導言語との関係を明らかにしようとした。そこでは、舞踊運動の評価が舞踊経験に基づく身体性(身体言語)に関与することが示唆された。平成 19 年度から 2 年の交付期間で科研費を採択された萌芽研究「身体表現から考えるジェンダー—舞踊動作に見られる女らしさと男らしさ—」においては、日本舞踊における舞踊動作の印象評価研究を通して、女性日本舞踊熟練者と女形(男性日本舞踊熟練者)における女らしさを比較検討した。

I investigate Dance Study from the viewpoint of dynamic expressiveness through dance movement.

The relationship between an effective guidance language and the evaluation in the dance class, is connected to the dance teacher's dance experience.

I continue to study the aesthetic expression of feminine in traditional Japanese dance by aesthetic evaluation(Izaki,2006).

The feminine in traditional Japanese dance is a very sophisticated, ordered, and highly disciplined mode of expression in the traditional style.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部教育：

「舞踊芸術学」では舞踊の文化的概観、舞踊の領域、運動と表現、形式と内容、形式と構造という観点から「舞踊とは何か」を考える授業を展開している。「舞踊芸術学実験演習」では学生各自が舞踊学の論文のレジュメを作成し、発表を行い、論文の内容に関して議論する。モダンダンステクニク初級では「身体を知る」ためにフロアーエクササイズ、ステップを含む移動、フレーズを踊ることを行っている、舞踊創作法では作品を上演できるまでの創作のプロセスを理解し構成・演出を考えることをねらいとしている。

大学院教育：

「舞踊芸術学特論」では美学的見地からの理論、舞踊の作品分析を中心に講義した。論文指導では、前期課程の2名の修士論文指導を行った。

Undergraduate course:

Dance and the Arts(dance history, dance education, form, and content)
Modern Dance Technique(floor exercises, locomotion, and phrase) Dance Creation(improvisation, choreograph, and composition)

Graduate course:

Dance Theory(dance phenomenology, dance aesthetics, dance analysis, and Laban method)
Dissertation

◆研究計画

現在行っている研究とそれに関連する発展的研究は以下のようになる。

- ・身体表現から考えるジェンダー—舞踊動作にみられる女らしさと男らしさ (萌芽研究 H.19～20)
- ・男女共修授業「身体を通したジェンダーフリーなダンス」の理論化と検証
- ・もうひとつのダンスを探る—コミュニティダンスを基点とする舞踊実践研究—
- ・子どもの身体表現における評価システムの開発—身体表現指導者の指導力向上を目指して—

◆メッセージ

舞踊教育学コースを志望する受験生の皆さんは、誰よりも踊ることが大好きであると思います。踊るという身体を通した舞踊の経験から得られるさまざまな感覚、湧き起こる内なる感情の働きを十分に感じて下さい。舞踊の「こころ」と「からだ」がつながり合う有機的でダイナミックな全体性は、踊る体験を豊かな営みにするとと思います。